

東京都地域結集型研究開発プログラム フェーズⅢの紹介

～開発技術の製品化～

地域結集事業推進室では、東京都地域結集型研究開発プログラムで開発した技術を製品化する事業を進めています。事業の概略と製品化事例をご紹介します。

製品化・事業化を目指すフェーズⅢ

東京都地域結集型研究開発プログラムは、平成18年12月から平成23年11月までのフェーズⅠおよびⅡで、VOC排出削減の技術開発を行いました。現在はフェーズⅢとして、開発した技術の製品化・事業化を進めています。

運営体制

業界団体関係者や学識経験者で構成される「環境浄化技術連絡会議」により事業管理を行います。座長は片岡正俊都産技研理事長が務め、会議を主宰します。具体的な製品化・事業化は、上記会議のもとに設置される技術分野別の「環境ビジネス推進協議会」で進捗管理します(図1 事業運営体制)。

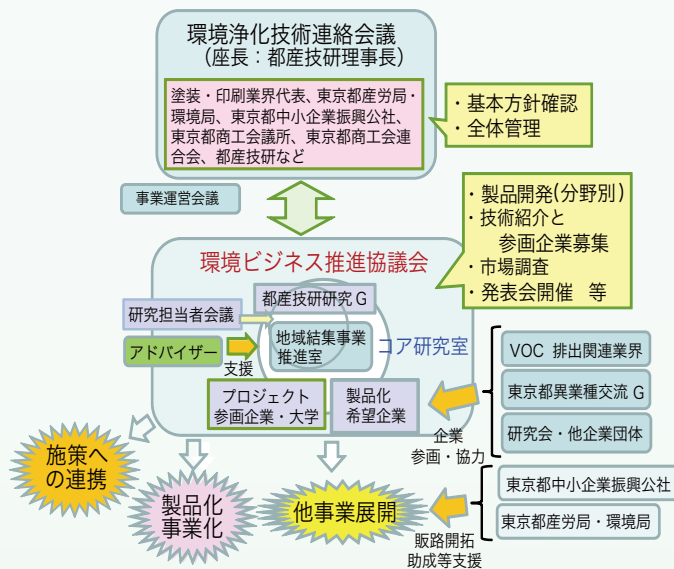


図1 事業運営体制

製品化への取り組み事例

東京大学と都産技研は共同で、白金(Pt)を使用せずに、コバルト(Co)やセリウム(Ce)などの安価な金属を使用した複合酸化物触媒を開発しました。この触媒は、塗装工程から排出されるヤニや印刷工場から排出される酢酸エチルに高い分

解効果を示します。現在量産方法を確立し、三協興産(株)と連携して販売開始の準備を進めています。



図2 開発した触媒
(左:ペレット型、右:ハニカム型)

その他当事業では、高感度、高選択性のホルムアルデヒド計測器、中小企業向けの省エネ・省スペース型塗装乾燥炉用VOC処理装置、汚染に強い光イオン化センサ、再利用が可能な金属繊維フィルター、測定範囲の広い局在表面プラズモン共鳴センサ、新材料のスーパーマイクロポラスシリカなどの製品化を進めています。

展示会での製品紹介

展示会や機関紙、発表会で開発製品の普及に努めています。特に展示会では、多くの企業の方々から引き合いをいただいています。

環境施策への展開

東京都環境局が主催する「VOC対策セミナー」で、事業で得られたVOC対策技術を講演するなど、産業労働局や環境局と連携して、東京都の環境施策への展開を進めています。

当事業の詳細は地域結集事業ホームページ

(<http://create.iri-tokyo.jp/>)をご覧ください。

開発品の導入をお考えの方、開発技術にご興味のある方は下記までご連絡をお願いします。

地域結集事業推進室 <本部>
小坂 幸夫 TEL 03-5530-2557
E-mail:kosaka.yukio@iri-tokyo.jp